

広報チームが行く！



震災伝承施設の巻



Vol.51(2024/03/29)



国土交通省 東北地方整備局
鳴瀬川総合開発工事事務所

広報チームは、鳴瀬川総合開発事業及び関連する地域の情報を様々なメディアを活用し「親しみやすく」「わかりやすく」広報することを目的に令和2年6月に鳴瀬川総合開発工事事務所の職員で結成したチームです。

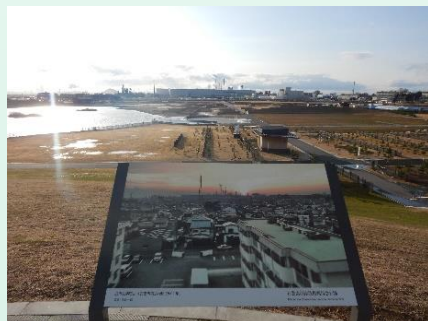
東日本大震災の発生から13年の年月が経ちました。地震や津波の事実と教訓を知り後世に伝えていくために、今回2カ所の津波伝承館と震災遺構を見学してきました。

東日本大震災津波伝承館（岩手県陸前高田市）



東日本大震災津波伝承館は、高田松原津波復興祈念公園内にあり、道の駅高田松原が隣接しています。事前に予約すると施設内を解説員の方に案内して頂けます。被災した消防車両についてや沿岸部の被害状況など、詳しい説明をして頂きました。東北地方整備局から移設して展示してある災害対策室には、モニターがいくつも設置されていました。祈念公園には、復興のシンボルになった“奇跡の一本松”のほか、いくつかの震災遺構が残されています。

みやぎ東日本大震災津波伝承館（宮城県石巻市）



建物の一番高い北側の屋根は、津波がこの地を襲ったときの高さと同じ6.9mの高さとなっています。東日本大震災・緊急対応の記録ブースでは、東北地方整備局の当時の対応が展示されていました。

“一丁目の丘”から見える景色は、設置してある震災以前の写真とは全く違う景色で胸が痛くなりました。

旧防災対策庁舎



津波の強さ・恐ろしさを肌で感じさせられるとともに、3.11を風化させないための役割を担う遺構の一つです。

旧防災対策庁舎を目の前にして、初めて津波の威力を目の当たりに

した若手職員達は、あまりの衝撃で言葉が出ないようでした。それでも、感じたことを思い思いに話していました。

あしがき・・・



昼食のため訪れた南三陸さんさん商店街は、海鮮のお店はもちろん、カフェやお土産屋などが多く並び、活気溢れる場所になっていました。買ってすぐに頂いた生牡蠣はとても新鮮で、頬が落ちるほど美味しかったです。被災地の今がどのようなになっているのか、是非足を運んで見て頂きたいです。

今回は、震災伝承施設について紹介しました。これからも震災を忘れずに、知ること伝承することを大切にしていきたいです。

